

令和8年2月の景色



ウグイスカグラ スイカズラ科スイカズラ属

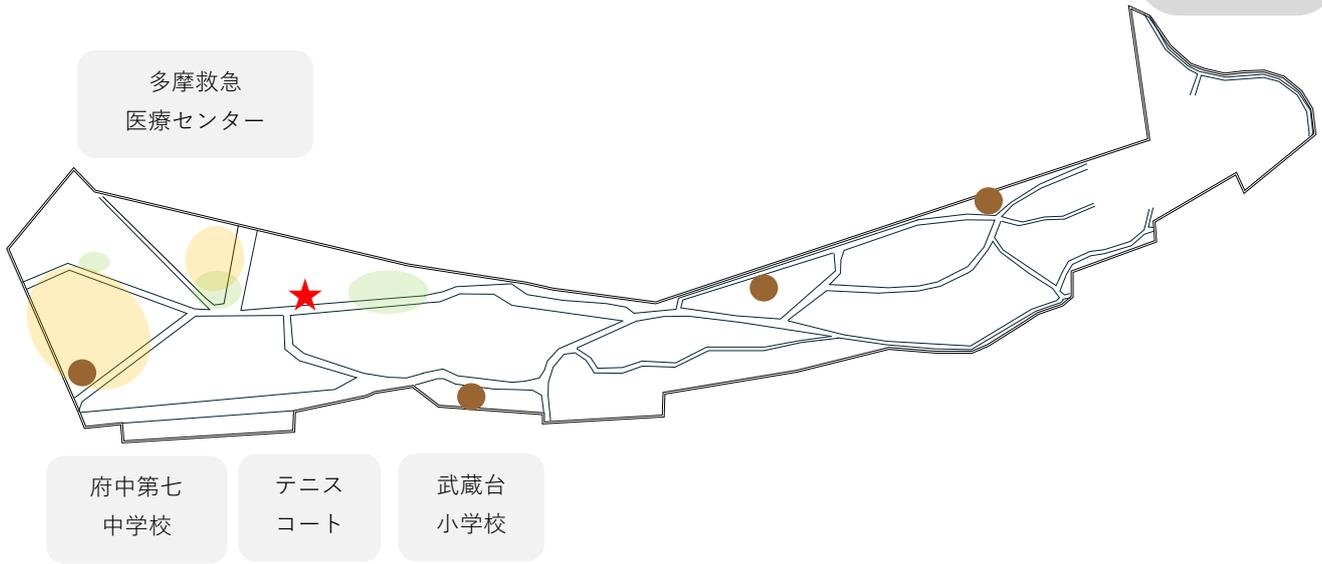
日本全国の山野に自生する落葉低木で、樹高は1～3mほどです。落葉樹が芽吹く前にいち早く開花します。実は赤色で、野鳥のえさとなります。えさとなる植物が生育する環境を整えることにより、鳥類の数が増え、より生物多様性の高い緑地となることが期待できます。武蔵台緑地ではアカマツ林とクヌギ林の境などで見ることができます。緑地全体でもまだ数が少ないため、大切にしましょう。

業務の実施内容

- ・ササ類の除去
- ・バイオネストの維持管理
- ・常緑樹の選択的除去
- ・剪定・枯損木伐採
- ・定期巡回・点検
- ・ボランティアとの協働（市民協働）
- ・判別調査（植物相調査）

作業箇所図

国分寺市立
黒鐘公園



- 実生木・常緑樹の選択的除去
- 外来種・栽培種ほかの選択的除草
- ササ類の除去
- ★ ウグイスカグラが見られる場所
- バイオネスのある場所



バイオネスト

ササ類の除去

武蔵台緑地の「植生管理ガイドライン」では、目標とするササ類の高さが示されています。それらの方針に沿って、ササ類を刈り取りました。

アカマツエリアでは、ササ類は全て刈り取ります。併せて落ち葉かきもしました。



作業前



作業後

雑木林エリアではササ類は残しつつも、勢いを抑えます。



作業前



作業後

常緑樹の選択的除去

低木層に常緑樹が増加すると林内が暗くなり、落葉樹の若木や草本が生育しにくくなります。とくに、トウネズミモチ（外来種）やアオキ、シュロなどの増加は、アズマネザサの繁茂とともに樹林の藪化の原因になっています。（中略）

常緑樹を取り除くことで林内を明るくし、在来の落葉低木の生育を促すとともに、多様な草本種が生育できる環境を維持します。

『武蔵台緑地 植生管理ガイドライン』より引用

常緑樹の実生木を選択的に除去しました。



作業前



作業後

バイオネストの維持管理

バイオネストとは、緑地の手入れで発生した枝や葉っぱ、草を投入し、分解させる場です。葉や草は中央に投入し、枝はバイオネストの囲いとして活用します。

現在、武蔵台緑地のなかにあるバイオネストは4つ。 地図を頼りに探してみませんか？



定期巡回・点検

緑地内を巡回し、捨てられたごみの回収や樹木・設備等の破損がないかの確認をしました。



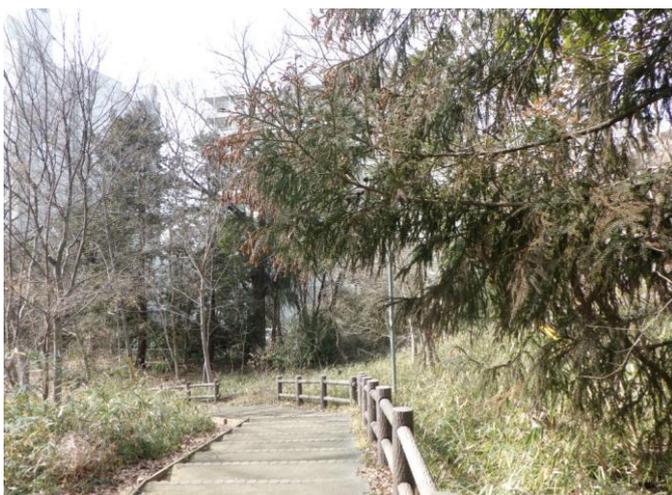
投棄物 五徳



投棄物 空き缶

支障枝剪定

通行に支障となる枝を剪定しました。



作業前



作業後



剪定したのはスギ
オレンジ色の部分（雄花）に花粉が入っています。
この日、花粉はまだほとんど飛んでいませんでした。

ボランティアとの協働（市民協働）

府中市環境調査員会議との協働 自然環境調査（植物班）

毎月1回開催される自然環境調査（植物班）に同行し、調査をしています。

調査日以外に見つけた生育場所・状況等については随時、情報提供をしています。



ガガイモ 種子



シュンラン つぼみ

武蔵台緑地保全ボランティアとの協働

緑地整備活動に同行し、手入れ内容や方法についての助言や植物生育状況などについて情報提供をしています。

今月は、武蔵台小学校5年生の環境学習に講師として協力をしました。

児童の皆さんは実際に緑地を歩きながら植物や管理の方法について学びました。

この日の体験をもとに環境保全のポスターを制作し、後日緑地内に設置するとのことです。

判別調査（植物相調査）

こまめに実施し、毎月1回の自然環境調査では確認していない時期や場所での植物の生育状況を記録しています。目に留まるものがあれば、鳥や虫についても記録しています。



キツネノカミソリの葉が出てきました



ヒサカキ 蕾